第７号様式（第４条関係）

まちづくりアドバイザー登録票

ふ　り　が　な	たかみち　まさし
氏　　名	高 道　昌 志
所属（勤務先）	まちなみ景観課へお問い合わせください
連　絡　先	
専　門　分　野	都市史・建築史、まちづくり
支援可能事項	■　まちづくりの進め方(ワークショップなど)について □　まちづくりの事業手法や制度について □　まちづくりの計画・ルールづくりについて □　建築制限、開発制限について □　不動産鑑定、税務、法律について □　防災まちづくりについて □　その他(　　)
支援可能事項における実績等	▸2012 年から現在　江戸城外濠と周辺地域の価値共有・発信を目的とした任意団体「外濠市民塾」の創設と運営に従事する。 ▸2018 年から現在　一般社団法人千代田まちづくりプラットフォームのメンバーとして、まちづくり活動の中間支援活動に従事する。 ▸2021 年 3 月から 2022 年 11 月　東京都稲城市都市計画マスタープラン策定委員会委員を務める。 ▸2024 年から現在　国際芸術祭「東京ビエンナーレ」の市民委員を務める。 ▸2025 年から現在　第 25 回千代田まちづくりサポート審査会委員を務める。
論文その他の実績等	▸高道昌志「近代移行期における江戸城郭　河岸地政策の影響と「外濠空間」の変容」、大石学・落合功 編『江戸東京移行期論 東都から帝都へ』戎光祥出版、2024 年 3 月、pp. 315-348. ▸高道昌志「江戸城外濠周辺における歴史環境資源を軸とした都心型まちづくり」『地域包摂型まちづくり特別研究委員会報告書』日本建築学会、地域包摂型まちづくり「若手奨励」特別研究委員会、2022 年 3 月、pp. 129-132. ▸高道 昌志『外濠の近代～水都東京の再評価』法政大学出版局、2018 年 3 月 16 日 (ISBN: 4588786105).

その他ＰＲ事項

　私はこれまで、水辺空間を中心とした都市の公共空間に関する都市史・建築史的な研究に取り組むとともに、そうした知見を活かした地域での実践活動、さらにそれらを教育やまちづくりの現場へと還元する取り組みを行ってきました。また、非営利団体の一員として、市民主体のまちづくり支援や、まちづくり協議会をはじめとする社会的な活動にも継続して関わっています。

　これらの活動を横断的に結びつけ、実践へと展開している点に、私の研究実践活動の特徴があります。都市や地域に内在する歴史文化的イメージを再評価し、得られた知見を広く地域社会にひらくことで、市民主体の「場づくり」を支援すること。そして、こうした取り組みを持続的かつ自立的に発展させていくための方法論を構築していくことが、私の研究実践における重要なテーマとなっています。

　八王子市は、豊かで多様性に富んだ自然環境と、幾重にも重ねられた歴史文化の層をあわせ持つ、非常に魅力的な地域であると感じています。これまでの経験を活かし、このまちの持つ魅力と可能性のさらなる発展に貢献できるよう、まちづくりアドバイザーとしての活動に取り組んでいきたいと考えております。